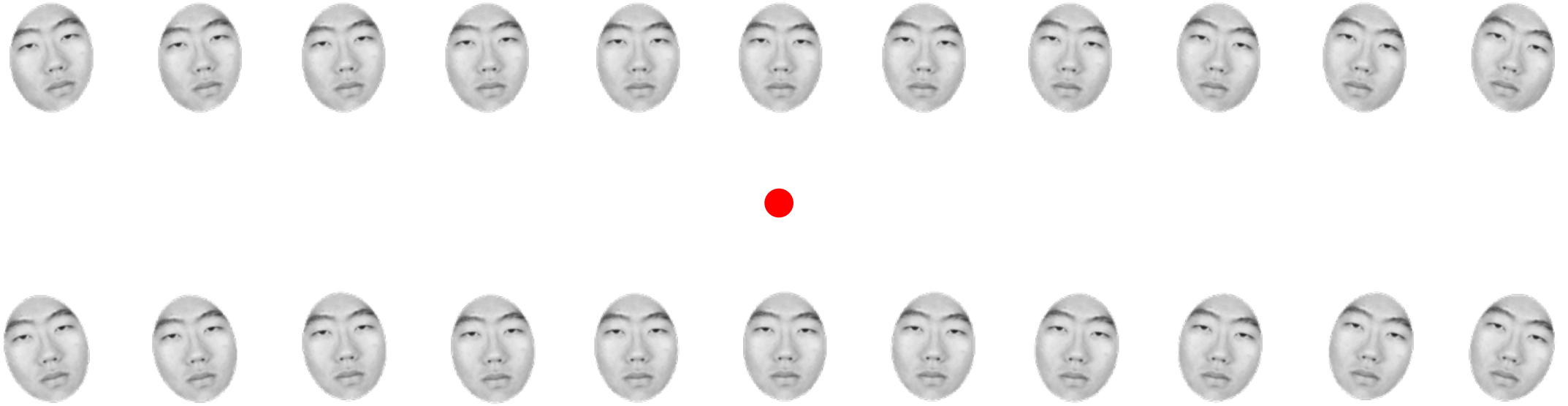


顔輪郭傾斜錯視

安田 孝（松山東雲女子大学人文科学部）

高木幸子（常磐大学人間科学部）



中央（赤丸）から左右に行くにしたがい、
楕円が傾いて見えます。

楕円は正立，内部の顔だけが傾いている



楕円ごと，全体が傾いている

上段は楕円自体は傾いておらず，内部の顔だけが傾いています。
下段の楕円全体が傾いたものと比べると，傾きは弱いものの，それでも傾いて見えます。

楕円は正立，内部の顔だけが傾いている



楕円ごと，全体が傾いている

別の顔を用いても，同様に楕円が傾いて見えます。



すべて正立



楕円は正立



楕円ごと傾き



内部も外部もすべて正立したものと比較すると，内部の顔だけを傾けたもの（楕円は正立）は，楕円が傾いて見えます。

楕円は正立，内部の鍋だけが傾いている



楕円ごと，全体が傾いている

顔に限らず楕円の中身が傾いていればよいのでは？ と寄せ鍋の画像を配置し傾けてみました。寄せ鍋にした理由は，中の要素（具材）に意味があり，しかし顔と違って決まった配置がしないからです。

楕円は正立



楕円ごと傾き



楕円は正立

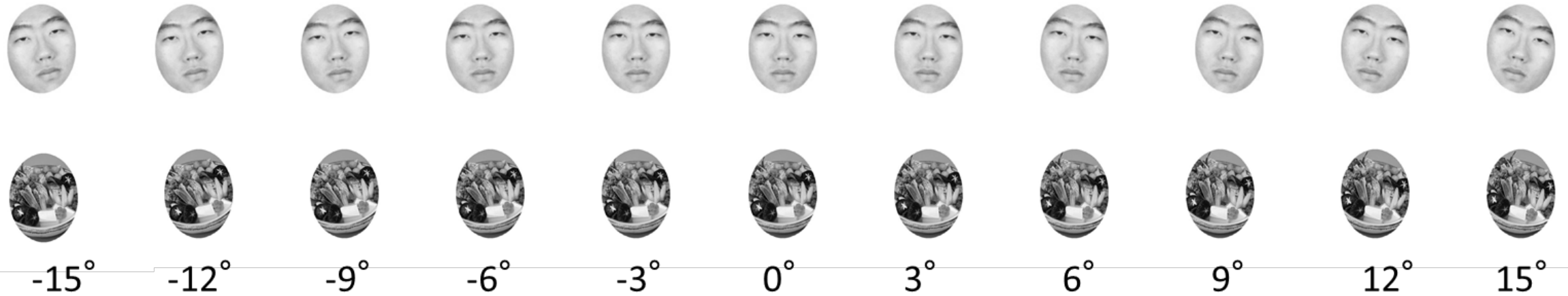


楕円ごと傾き



内部だけを傾けた場合，寄せ鍋は楕円の正立がより保たれています。
顔を傾けた方が，周りの楕円はより強く影響を受けています。

まとめ



- 楕円の中の顔を傾けると，楕円も一緒に傾いて見える
- 顔以外の図形では，顔に比べるとそれほど傾かない
- 顔が持つ性質が，より強い錯視を産み出している可能性がある